

図の上部には、次の口上がある。

乍憚口上

高ふはムリこぞ升れと役者の義いごにムリます升れは

御免のかふむりまして是より口上のもつて

申上奉り升御目通りにひかえ居り升る

御馴なしみ染市川男女蔵悴常磐津小文字太夫

義幼年のみきりよりいつれも様の御取立を

もちまして年来出情に相つとめ

次第に流義も相ひろまり升るは全まっく

大江戸出生の小文字太夫各様方の

厚き御ひるきゆえと心根しんこんに

てつしまして有かたき仕合せに

奉存升るしかる所此たび

去ル御ひるきの御かた／＼様より

文字太夫と改名仕りまする様にと

御すゝめ被下ましたる所小文字太夫

申まするはいまたみしゆくの私

なか／＼せんしもよらぬかえつて

先祖文字太夫名まゑを

けかしまするやうなものとたつて

じたい仕りましたるゆえ門弟中

井に内縁もござりますれば

かずならぬ私共まで打寄り

たつて相すゝめまして

文字太夫と改名仕り

まするやうにムリ升る

なを此すゑ長ふ

御ひるぎ御取立のほど

ひとえに奉希まする

まつは文字太夫

改名口上申上

奉り升ます